

OBD検査用スキャンツール

OBD検査用
スキャンツール

IS-J2534 nano

トータルサポートツールに進化する
新時代の検査機器次世代通信
プロトコル
ISO13400
(DoIP)
対応ワイヤレス
仕様
※有線対応可

オプション

別途専用アプリを追加することで
整備用スキャンツールとしても使用可能。好評
発売中OBD検査対応
整備用スキャンツールG-SCAN Z Tab MS
(マイクロソフト社製)
ジョー・スキャン・ゼット・タブ・エム・エス診断ソフトは圧倒的な
システム対応項目数と内容有線 車両通信
無線 ※変換力ブラ可
Windows 11 Pro
10.5インチG-SCAN
Z
ジョー・スキャン・ゼット有線 車両通信
無線 ※変換力ブラ可
Android 9
8インチ販売元 株式会社 **イヤサカ**

本社/〒113-0034 東京都文京区湯島3-26-9

TEL.03-3833-6110 FAX.03-5688-7074

HPはこちら >>> <https://www.iyasaka.co.jp/>

特集 スキャンツール

OBD検査や特定整備 必需品のスキャンツール

生産性向上にも欠かせないスキャンツール



自動車整備業の省力化投資促進プラン

	2025年度	2026年度	2029年度	2034年度
必要労働生産性上昇率(2024年度からの上昇率)	5%	10%	25%	30%
スキャンツール導入率(2024年度 67%)	74%	80%	100%	100%
記録事務代行対応率(2024年度 30%)	38%	46%	70%	90%
業務支援システム導入率(2024年度 70%)	76%	82%	100%	100%
指定工場数(2024年度 3.0万工場)	3.02万工場	3.04万工場	3.1万工場	3.2万工場

※認証工場は約9.2万工場

「自動車整備白書2025年版」によると、元の整備士数は前年度比0.5%増の33万3047人。4年ぶりの微増だが、ピークの2011年から漸減傾向にあり、整備要員の平均年齢(自家工場を除く)も11年と比べて4.6歳上昇するなど高齢化も顕著だ。学生へのPRや海外人材の活用など国交省や業界も手を尽くしているが、こうした状況に歯止めをかけることができない。少子高齢化の影響は整備業に限ったことではない。このため、政府は昨年6月、「新しい資本主義実行計画」に基づく「省力化投資促進プラン」の中で、人手不足が特に深刻になると見込む

12業種を選定。29年度までを「省力化投資集中期間」と位置づけ、規制緩和や投資補助などを打ち出した。この中には自動車整備業も含まれる。その自動車整備業では、業務支援システムや省力化機器とともに、スキャンツールをさらに広める。電子化が進んだ車の点検や整備に欠かせないスキャンツールだが、取引先や他工場への委託で済ませている工場もまだまだ少なくない。しかし、OBD(車載式故障診断装置)検査や「特定整備制度」がスタートする中、トラブルシューティング(故障探索)時間も半減できるスキャンツールは生産性向上の強力な武器になり得る。

新たな補助
事業も開始

国内に約9万2千事業場ある認証工場におけるスキャンツールの導入率は7割ほど。国交省は、米国車に対応するスキャンツールについて、1事業場当たり最大で50万円を補助する制度を5月末から始めた。日米関税協定を踏まえた一時的な措置だが、補助額は過去最大で補助率は即日埋まった。

これとは別に、1事業場当たり最大30万円を補助する事業も国交省はスタートさせる。補助額を昨年度から倍増させ、より高機能なスキャンツールを導入できるようにする。これまで通り研修費用に関する補助も実施する。

残念ながら物価高や人手不足は収まる気配がない。国の政策や補助制度も活用し、生産性を少しでも高めることが、生き残りに向けたカギの一つと言える。

生産性向上の武器としても

政府がスキャンツール(外部故障診断機)の普及を加速させている。ソフトウェア・デファインド・ビークル(SDV)など技術の高度化に加え、人手不足で整備工場の生産性向上が急務だからだ。国土交通省は「2029年度に認証工場のスキャンツール保有率100%」を目指している。

人とクルマに優しい
サービスの未来空間を創造マルチサポートツール
整備/検査 兼用スキャンツール

MST-nano2

MST-nano2シリーズ

新たな整備ビジネスのステージへ!

- ◆ ISO13400 (DoIP) 通信プロトコル対応
- ◆ 整備時は無線 (Bluetooth) 接続
OBD 検査時は有線 / 無線 (Bluetooth) 接続
- ◆ EDR 情報の読み取りに対応 (一部国産車のみ)
- ◆ FAINES との車両情報の連携
- ◆ ADAS キャリブレーション機能搭載
- ◆ 音声サポート機能搭載

マルチサポートツール
整備/検査 兼用スキャンツール

MST-8R

8インチのタッチパネルを採用!
操作性に優れたスキャンツールです。整備用として使用する場合には、MST-8R単体で使用できます。
検査用として使用する場合には、別途特定DTC照会アプリをインストールしたパソコンをご用意ください。

- ◆ ISO13400 (DoIP) 通信プロトコル対応
- ◆ 整備時は有線接続
OBD 検査時は有線 / 無線 (Bluetooth) 接続
- ◆ 音声サポート機能搭載



共通

整備用として使用時

国産乗用車 / 国産トラック / 輸入車合わせて
23メーカーに標準対応

- 国産乗用車 (8メーカー) トヨタ/スズキ/マツダ/ホンダ/三菱/日産/スバル/ダイハツ
- 国産トラック (4メーカー) いすゞ/UDトラックス/日野/三菱ふそう/重機 (一部メーカー)
- 欧州車 (11メーカー) メルセデスベンツ/フィアット/ベントレー/アルファロメオ/マセラティ/ボルシェ/アウディ/フォルクスワーゲン/BMW/BMWミニ/フェラーリ

※検査用として使用時は、対応通信プロトコルであれば上記メーカー以外にも対応可能です。

Made in
JAPAN

ソフト&ハード/日本製

診断ソフトの開発/各スキャンツールの基盤製造、組立も
日本国内にて行なっております。
ソフト/ハード共にメイドインジャパンにこだわっています。
※ハードケース等は一部海外製です

安全に関するご注意

ご使用前に「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
(型式・仕様は予告なく変更することがあります。)

BANZAI

株式会社 **バンザイ**

■ 本社 〒105-8580 東京都港区芝2-31-19

TEL 03(3769)6880(代) FAX 03(3456)4691

<https://www.banzai.co.jp>

E-mail: eigyo@banzai.co.jp

ISO9001認証取得
ISO14001認証取得バンザイは、SDGsを推進する日本ユネスコ
協会連盟の賛助会員として支援しています。

ANZEN がご提案する整備現場の課題を解決する最新スキャンツール



ADASツール(オプション)※との連携で、正確・迅速なエーミングも可能! MaxiSysシリーズ

※詳しくはお近くの支店・営業所にお気軽にお問合せください



■対応車種は60メーカー以上!

国産車はもちろん、米国車および欧州車まで対応

■次世代車両にも対応 米国Tesla(テスラ)専用の診断ソフトも

対応プロトコル: DoIP / CAN FD / D-PDU / J2534 / RP1210 など

■オンラインコーディング作業対応

コーディング(カスタマイズ)作業とは、コンピューターの設定を書き換えて電装品の制御を変更するカスタム手法です。輸入車を中心に広まっています。

●コーディング例

※車両によって対応していない場合があります。また作業は自己責任でお願いします。

- ・ポジションランプの常時点灯によるデイルイト化
- ・パワウインドウのワンタッチ開閉のON/OFF
- ・アイドリングストップのON/OFF
- ・部品交換時の設定 など

■1台ですべての作業が完結

対応機種: MaxiSys UltraS2 MaxiSys 919S2

VCMI 2iに搭載したオシロスコープ、波形発生器、マルチメーター、CANバスデスターなどによって、診断テストからシステム分析まで一連の作業が1台で対応可能です。 VCMI 2i(UltraS2 919S2に付属)



■AIを活用したデジタル車両検査

マルチポイントDVIで高精度に車両チェック! 車両の外観、外装、内装、ブレーキとタイヤ、エンジンルームなどの状態をAIが自動解析し、見逃しを防止します。



■購入から1年間は、無料でTCPがご利用可能

TCP(トータルケアプログラム)の内容は ①回数無制限のソフトアップデート ②オーテルサポートセンターの利用無料 ③期間中の修理料金割引(TCP特別保証)付与となります。

ANZEN
安全自動車株式会社〒108-0023 東京都港区芝浦4-16-25
TEL(03)5441-3415 FAX(03)5441-8848
https://www.anzen.co.jp

最新の業界情報をお届け!! ANZENメルマガ会員募集中

詳しくは

Q ANZENニュース 検索



イヤサカ

IS-J2534 nano

イヤサカが販売するOBD検査用スキャンツール「IS-J2534 nano」は、OBD(外部故障診断装置)検査に特化したモデル。機能はシンプルにしたことで、使いやすさを向上させた。初回接続時は、パソコン、またはタブレットへスキャンツール本体に内蔵されているデバイスドライバーをインストールする。Bluetooth(ISO13400)に対応



OBD検査に特化 使い勝手が向上

「エーミングモード」「メンテナンスモード」を用意。Windows端末に専用アプリをダウンロードすることで、整備用スキャンツールとして活用することが可能。また、EV(電気自動車)やPHV(プラグインハイブリッド車)の駆動用バッテリー診断が可能。HV/PHV/EV「EV診断」やイベントデータレコーダー(EDR)読み込み機能を追加した。さらに、本体保証延長制度(要問い合わせ)もある。

★スキャンツール 各社の製品★

バンザイ

MST-nano2/MST-8R

8つの機能 国内外23メーカーに対応



バンザイの「MST-nano2」「MST-8R」は、整備用として国産車と輸入車23メーカーに標準対応し、日本メーカーの米国生産車の作業も可能だ。ISO13400(DoIP)対応で、MST-nano2は無線対応となり、作業をサポートする。さらに、車両登録機能があり、初

業導線を確認することができ、いずれも、3年間の無償アップデート・本体保証が付く。また、MST-nano2は、MST-8Rが1年間のホットライン付きで作業をサポートする。さらに、車両登録機能があり、初

回入庫時に登録することで、2回目以降の車両登録の手間を省くことができる。それぞれ、故障コード読取・消去や作業サポートなど、8つの機能を持つ。作業結果をプリントアウトすることができ、ユーザーへ結果を可視化した状態で説明することが可能だ。

オリジナル多機能スキャンツールでOBD検査・車両整備をサポート!

米国車も対応!

ALTA

Windowsタブレット型スキャンツール

SSS-T3

OBD検査 型式認定取得 JASEA-KS-34

次世代車載通信プロトコル Do IP(ISO13400)対応

OBD検査も車両診断もワイヤレス!

ハンディー型スキャンツール

SSS-αⅢ

OBD検査 型式認定取得 JASEA-KS-29

次世代車載通信プロトコル Do IP(ISO13400)対応

乗用車・大型車・輸入車の診断にマルチに活躍!

SSS-T3独自機能



電子車検証を内蔵ICリーダーで読取! 手入力を削減!

国産乗用車・国産トラック・主要輸入車・スーパーカー 全23メーカー対応!

車両データアップデート 3年間無料! 車両修理ホットライン 1年間無料!



さらに便利に!

EASYReport Plus

スマホ・タブレットからリモート操作・レポート発行が可能!

国産乗用車・国産トラック・主要輸入車 全19メーカー対応!

車両データアップデート 2年間無料!



※専用アプリのインストールが必要(iOS/Android対応 無料)



※SSS-T3/SSS-αⅢは、本体初期設定・特定DTC照会アプリのインストールも含め、すべてお客様自身でのセットアップが必要になります。※SSS-αⅢでのOBD検査時のWindowsタブレットまたはノートPCとの接続は有線・無線どちらにも対応しております(車両とSSS-αⅢ本体の接続は有線になります)

※HV/PHV/EVの駆動用/バッテリー診断機能には対応していない車種・車両がございます。※EDR(事故記録装置)の読み取り機能はトヨタ・スバルの一部車両に対応しております(2024年9月現在)

創造する信頼のパートナー

ALTA

株式会社アルティア

〒104-6206 東京都中央区晴海 1-8-12 晴海トリトンスクエアZ 6階

【支店】札幌・仙台・首都圏・関東信越・名古屋・大阪・広島・福岡

03-6777-0038

HP 情報発信中

Instagram



G-SCAN

整備現場の、

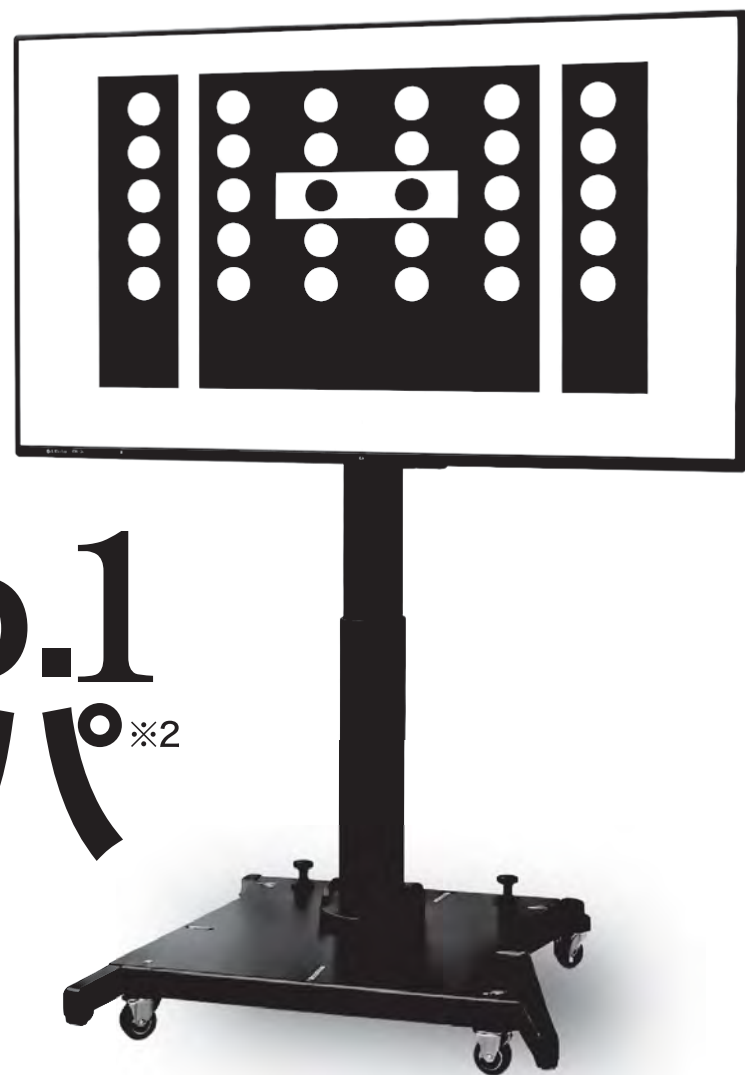
ストレスを減らす。

車検証
瞬間読み取り^{※1}

Flagship

※1 レーザー式 QR リーダー搭載により、従来のカメラ式では難しかった約 0.1 秒の即時読み取りを実現。
 ※2 2026年6月現在、自社調べ。主要エーミングモニター製品との価格・機能比較に基づく。

エーミングモニター

業界No.1
コスパ^{※2}

アルティマ

SSS-T3

OBDと車両整備兼用 高い利便性

☆ スキャンツール 各社の製品 ☆



アルティマは、OBD検査と車両整備の両方に対応する Windows タブレット型 スキャンツール「SSS-T3」をラインアップ。
 本機は、次世代車載通信プロトコル「Doip (ISO 13400)」に対応。Windows タブレットと VCI (ピークル・コミュニケーション・インターフェース) がセットになったオールインパッケージで、Bluetooth によるワイヤレス接続によって OBD 検査が可能。高い利便性が最大の特長となっている。
 タブレットには ICDリーダを内蔵、電子車検証をかざすだけで「特定 DTC 照会アプリ」に車両情報が自動入力され、従来の手入力作業を削減。作業時間の短縮につながり、効率的な OBD 検査を実現。
 DPF (ディーゼル微粒子) 現る。
 整備機能としては、国産車、大型バス、トラック、輸入車、スーパーカーまで幅広く対応。故障診断や DTC (故障コード) の読み取り・消去が可能。不適合時には、同一端末で不具合内容の把握から対応まで迅速に行える点も大きな魅力。
 「SSS-T3」には、車両ソフトウェアのアップデイト3年間無料、車両修理ホットライン1年間無料が付帯。ショルダーベルト付き専用タブレットケースも同梱し、スムーズな持ち運び・操作が行える。

オートル MaxiSys UltraS2

最新プロトコル対応で高速診断可能



安全自動車

安全自動車が発売するオートル MaxiSys UltraS2 は、最新の「MaxiSys UltraS2」がリリースされた。最新プロトコル対応のため、高速診断が可能。診断が可能なデバッグ・イースプレイは、シリーズ最大の13.7インチ。最新の車載ネットワークにより、次世代車の診断も可能。購入から1年間は、無料でトータルケアプログラムのアップデイトやオートル・サポートセンターへの問い合わせ、修理料金割引などのサポート体制が整う点も魅力だ。

検査用/整備用スキャンツール

HDM-10000

日本自動車整備商工組合連合会
推奨機

OBD車検対応機

一般社団法人 日本自動車機械工具協会
 検査用スキャンツール型式認定
 (型式試験番号: JASEA-KS-28)

Point
01検査用スキャンツール
標準装備2024年10月開始の
OBD車検対応を標準装備

- ✓ 車両整備
- ✓ OBD検査

Point
02

次世代通信に対応

次世代の車両通信規格
ISO13400 (イーサネット/DotP)
採用車のOBD検査対応可能Point
03

自由な接続方法

OBD検査時の本体とPCの
接続は有線に加え、無線
(Bluetooth®) 接続も可能Point
04

簡単スイッチング

2操作で簡単モード変更
[整備用モード] ↔ [検査用モード]Astemo
Mobility Beyond毎日使うから
カンタン操作
スピード重視

HDM-10000

日本製
検査用/整備用スキャンツール兼用

もうすぐ終了!
 新規購入キャンペーン
 同時実施中!
 2026
 6/30 (火) まで
 キャンペーン詳細はこちら>>



記載内容は2026年6月現在のものです。製品の最終仕様は予告なく変更する場合があります。

Astemoアフターマーケットジャパン株式会社

Astemoアフターマーケットジャパン株式会社
 〒135-0062 東京都江東区東雲 2-10-14
 カスタマーサポートセンター TEL.03-3527-6323



Astemoアフターマーケットジャパン

HDM-10000

Astemoアフターマーケットジャパンの「HDM-10000」は、検査・整備兼用のスキャンツール。操作がしやすく、スピードを重視した設計が特徴だ。次世代車の通信規格であるISO13400に対応している。高性能なCPUを搭載し、スムーズな立ち上げと操作を



高い操作性 スピード重視した設計

実現した。また、検査用と整備用の切り替えが便利なりセットキーを設定。OBD検査が不適合だった場合には、すぐに整備用スキャンツールに切り替えて点検整備にのりかかることができる。さらに、ファンクションキーを追加したことで、操作性を高めた。画面スクロールがしやすいよ

うにページダウン・アップキーを搭載したほか、画面キャプチャーが可能でスクリーンショット機能も盛り込んだ。本体デザインは、片手でも両手でも操作がしやすいように設計した。

車両登録機能があり、初回入庫時にナンバーなどを登録することで保存データの紐付けができるようにした。また、愛車診断レポート(全自己診断結果)と作業サポートレポート(エーミング作業結果)の作成が可能で、車検・点検の記録として活用できる。

アフターサポートでは、アップデート版診断ソフトのダウンロード(1年間無料)に加え、今なら故障診断サポートセンターを1年間無償で利用できる新規購入キャンペーンを6月30日まで実施している。

インターサポート

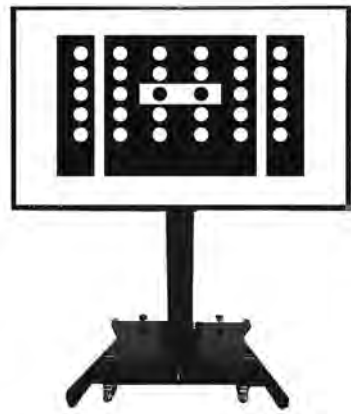
G-SCAN Z2 Flagship



直感的操作で現場にベストアンサー

インターサポートの最新次世代型スキャンツール「G-SCAN Z2」フラッグシップは業界初のアンドロイド15OSを搭載。直感的な操作ができ、起動も高速で整備の現場に最適なベストアンサーは目玉の一つ。

導入後の支援も手厚く、本体には3年間のメーカー保証が付属し、1年間の無料期間を含む技術研修会やオンラインサポートを通じて、整備士の知識向上や整備情報提供を独自に開発した整備特化型AIとの連携



エーミングモニター

さらにエーミング作業を進化させる「エーミングモニター」も用意している。65型のタッチパネルモニターに国産車はもちろん、輸入車も含めた各メーカーのカメラ用ターゲットを映し出すことができる。

多角的にバックアップする。導入した自身の現場を事前に体験できるデモ機無料貸し出しサービスもっている。

さらにエーミング作業を進化させる「エーミングモニター」も用意している。65型のタッチパネルモニターに国産車はもちろん、輸入車も含めた各メーカーのカメラ用ターゲットを映し出すことができる。

現場のニーズ考えた幅広い商品群



ツールプラネット

国産にこだわり導入しやすい価格で

岐阜市に本社を置く有力スキャンツールメーカー・ツールプラネット(浅野一信社長)が、従来から高く評価されてきた技術力に加え、整備現場の高度化に追随し、整備業界での存在感をさらに高めている。

同社は2010年に初代モデルを発売して以来、スキャンツールの国産開発にこだわりの、独自の製品群を発表してきた。浅野社長が掲げる「現場では何が必要なのか」という理念の下、診断精度や操作性に加え、ADASエーミング機能の充実や診断支援アプリなど新たな領域への展開も

加速させている。整備業界が人手不足や技術継承難などの課題に直面する中、同社はスキャンツールの開発において、使いやすさを徹底し、整備現場の負担軽減と整備の質の底上げにつなげることを目指している。スキャンツール市場では海外製が主流で高価格帯の商品が中心となる中、同社のスキャンツールは導入しやすい価格帯であり高性能を実現している。国産メーカーとして非常に貴重な存在と言える。



日刊自動車新聞デジタル版では「スキャンツール特集」を掲載しています。本特集に掲載している各社の製品をカラーでご紹介しています。ぜひ、デジタル版スキャンツール特集も併せてご活用ください。



TOOLPLANET TECHNOLOGY

TPM-7^{OBD PLUS}

整備・検査兼用

2台の検査用スキャンツールでOBD検査体制を強化

TPM-6

整備・検査兼用

次世代通信 DoIP (ISO13400) 対応
ハイスpek診断機

nanoWIN

検査専用 (整備用ソフト追加可能)

DoIP (ISO13400) 対応の検査専用機
整備用ソフトの追加で兼用機仕様に拡張

TPM-3

整備用

フルスペックモデルと遜色ない機能を備えた
最強のコストパフォーマンスモデル

スキャンツールは一人一台の時代

株式会社ツールプラネット 〒500-8122 岐阜県岐阜市旭見ヶ池町43-2 TEL:058-246-1733/FAX:058-246-1736 E-mail: d_contact@toolplanet.co.jp